

認知症に関する取組みについて

□「オレンジリングイベントふくやま」への参画

去る、平成22年9月19日（日）、広島県民文化センターふくやまで開催された『オレンジリングイベント～認知症になっても大丈夫～』（主催：広島県）において、認知症に関する当金庫の取組事例を発表いたしました。



（平成22年9月19日「オレンジリングイベントふくやま」（会場：広島県民文化センターふくやま）

□「認知症サポーター養成講座」の開催

当金庫は、厚生労働省が進める「認知症サポーター100万人キャラバン事業」の趣旨に賛同し、当金庫のCSR（企業の社会的責任）活動の一環として、下記の通り、平成22年2月18日当金庫皆実支店を皮切りに「認知症サポーター養成講座」を計6回開催いたしました。

「認知症サポーター養成講座」開催状況

- 平成22年2月18日開催（皆実支店）、受講数95名
 - 平成22年6月8日開催（東城支店）、受講数20名
 - 平成22年6月21日開催（福山営業部）、受講数69名
 - 平成22年6月22日開催（尾道支店）、受講数87名
 - 平成22年6月22日開催（西条支店）、受講数31名
 - 平成22年6月24日開催（福山営業部）、受講数94名
- 現在、当金庫役職員の認知症サポーター数は386名（延べ396名受講）



当金庫役職員386名の受講により、「認知症サポーター」を全店に配置しました。
今後とも、当金庫役職員が認知症を正しく理解し、認知症の人や家族の方に温かい対応をしていくことで、店頭業務等での接客スキルの向上を図って参ります。



（「認知症サポーター養成講座」受講風景）